

現地調査の結果について

(令和3年12月末時点)

令和4年3月29日
生活環境調査委員会（第2回）

現地調査の結果

(1) 大気質

環境基準が定められている項目については、**全て環境基準以下**であった。

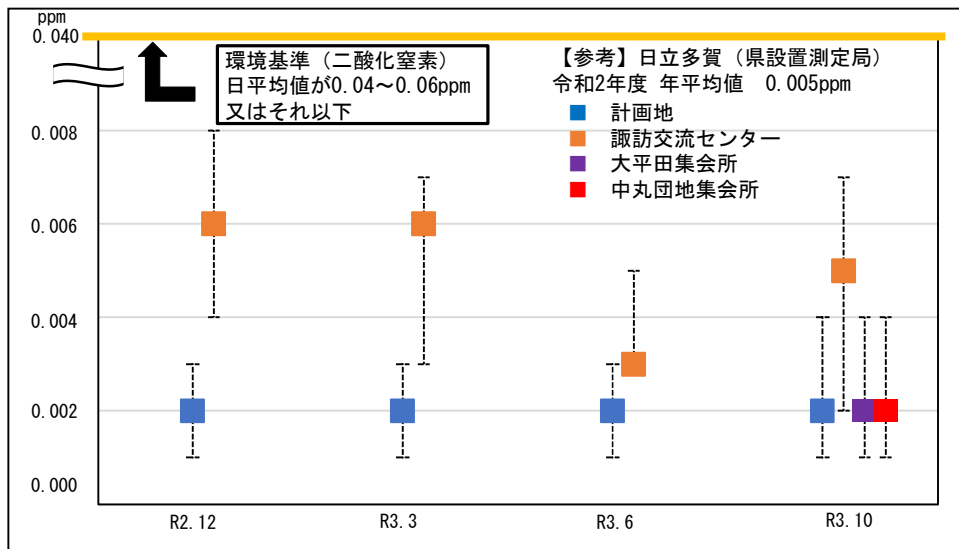
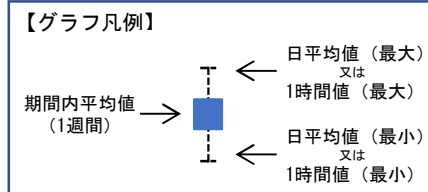


図1.1 二酸化窒素 (日平均値 (最大・最小) 及び期間平均値)

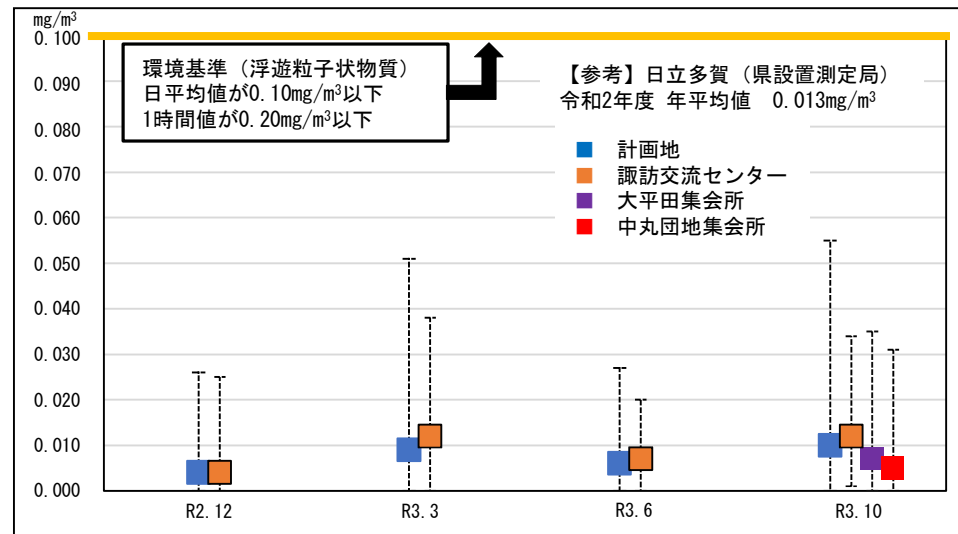


図1.2 浮遊粒子状物質 (1時間値 (最大・最小) 及び期間平均値)

(2) 騒音、(3) 振動

騒音は、**環境基準以下**であった。振動は、**要請限度***と比較して低い値であった。

表2 騒音・振動の調査結果

地点		計画地		諏訪交流センター	
		R3.3.17~18	環境基準	R3.3.17~18	環境基準
騒音 [dB]	昼間 (6~22時)	57	70以下	54	60以下
	夜間 (22~6時)	46	65以下	46	55以下
振動 [dB]	昼間 (6~21時)	<30	-	35	-
	夜間 (21~6時)	<30	-	<30	-

(4) 悪臭

悪臭は、**悪臭防止法に基づく規制基準***と比較して、低い値であった。

※ 悪臭に係る環境基準はないため、参考までに悪臭規制法による規制基準と比較した。規制基準は、都市計画法で定める用途地域における敷地境界線での規制基準 (第1号基準)。

現地調査の結果

(3) 河川水質・底質

河川水質について、pH等主な生活環境項目は、図2.2のとおりであり、久慈川等日立市内の主な河川※2と比較して同程度であった。

また、カドミウム等環境基準が定められている項目は、全て環境基準以下であった。

河川底質について、環境基準の定められているダイオキシン類は、環境基準以下であった。

※1 単位 pH：なし pH以外：mg/L

※2 調査地点の鮎川は、生活環境項目に係る環境基準の類型区分はなされていないため、県等が実施した日立市内の主な河川（9河川）の測定結果と比較した。

※3 R2.12.10（水質、底質）及びR3.2.1（水質）は、調査地点の水量がなかったため、鮎川2'の地点で採取した。

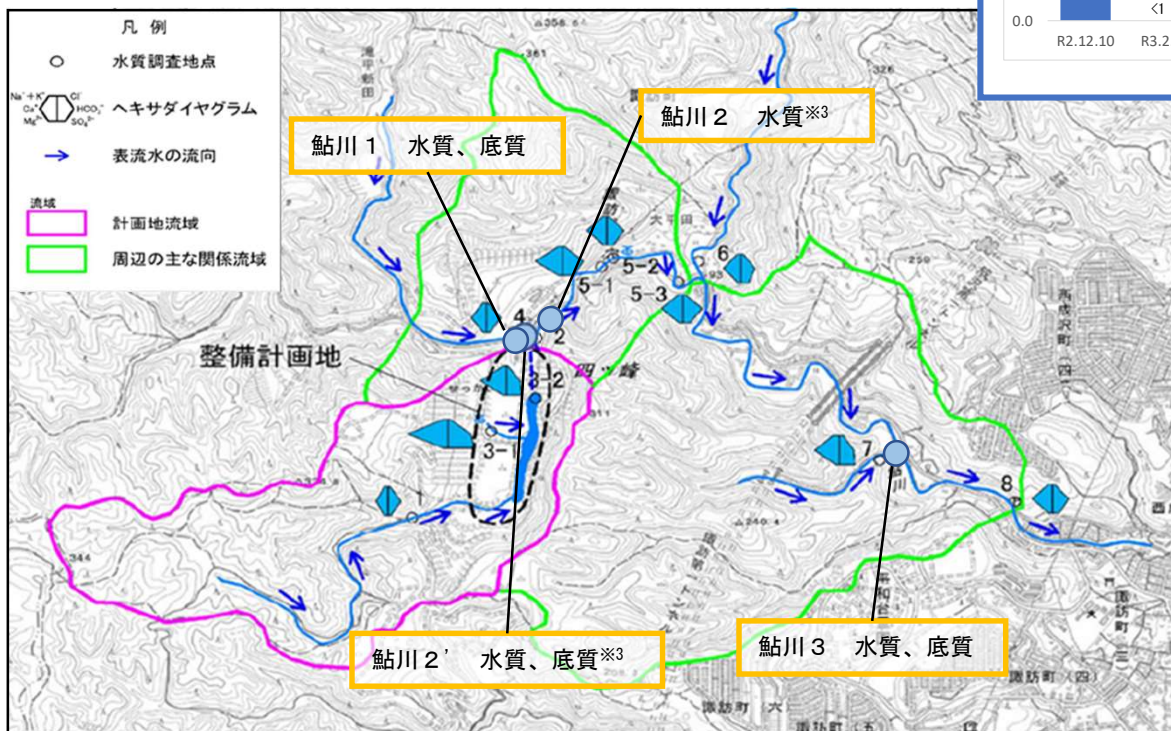


図2.1 河川水質・底質採取地点 (第1回基本計画策定委員会資料3-3より引用・一部改変)

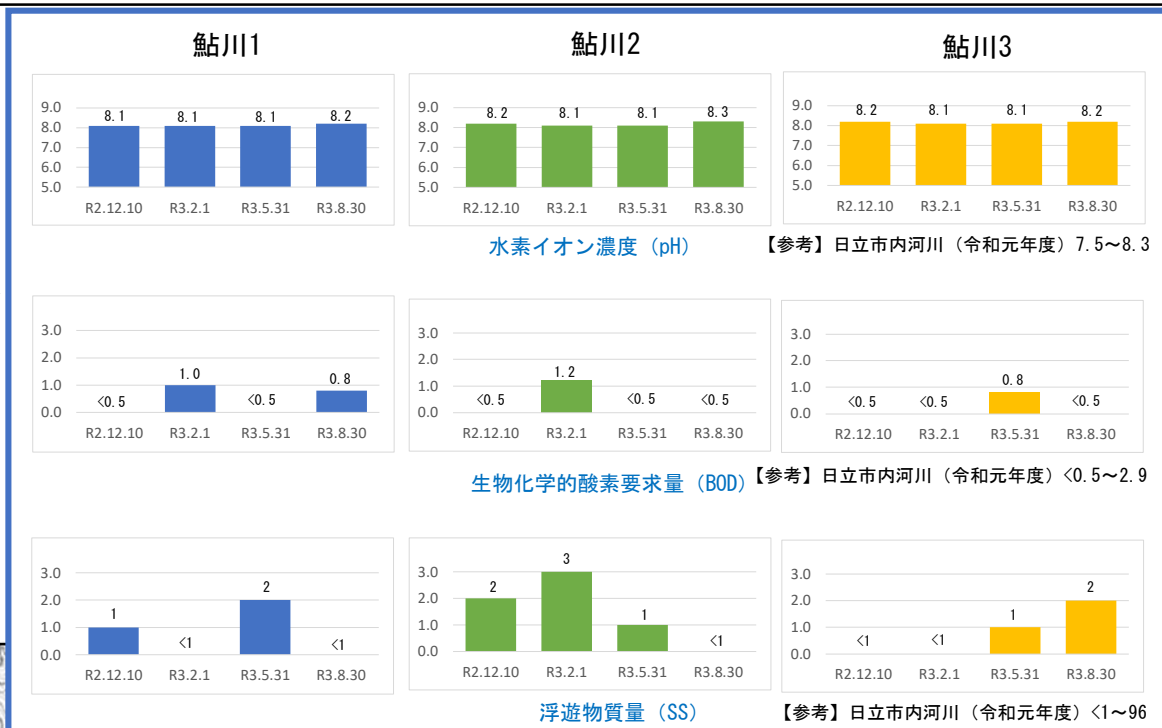


図2.2 河川水質 測定結果※1



河川水採取